

2007 年度

<p>科目名</p> <p style="text-align: center;">国文学特殊研究Ⅳ</p>	<p>対象学科・学年</p> <p style="text-align: center;">研究科前国1 回生 研究科後国1 回生</p>	<p>担当者</p> <p style="text-align: center;">高橋 圭一</p>
<p>授業テーマ</p> <p style="text-align: center;">江戸文学の一ジャンルである実録の研究</p>		
<p>授業の概要と目標</p> <p>実録体小説、略して「実録」についての講義です。実録とは「事実の記録風の小説」の意で、多くは江戸時代に実際に起こった事件を題材とし、いかにもこれが真実であると銘打たれているものの、浮世草子や読本同様全くの創作とみなすべき作品群です。予定よりかなり遅れていますが、『大坂城の男たち』という本（岩波書店刊）を出しますので、大坂の陣関係の実録を今年度まで専ら取り上げます。</p>		
<p>評価方法</p> <p style="text-align: center;">講義の終わりにレポートを提出してもらいます。出席も重視します。</p>		
<p>テキスト</p> <p style="text-align: center;">使用しません。原稿のコピーを配布します。</p>	<p>著者</p>	<p>出版社</p>
<p>参考書</p> <p style="text-align: center;">『実録研究一筋を通す文学一』（購入の必要はありません）</p>	<p>著者</p>	<p>出版社</p>
<p>授業スケジュール・内容</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1、実録序説。実録とはいかなる文学か、どのような作品（群）があるのか、どのように読まれたのか、など。</li> <li>2、 続き。幕府からはどのように見られたのか、など。</li> <li>3、 続き。実録と軍学など。実録研究が立ち遅れていることなど。</li> <li>4、本編その一。「苦悩の忠臣」片桐且元。</li> <li>5、 続き。「桐一葉」の片桐且元。片桐且元と大筒。</li> <li>6、 続き。「大坂方のスカウト」片桐且元。</li> <li>7、本編その二。「豪傑」後藤又兵衛。</li> <li>8、 続き。その高名。武辺話中の後藤又兵衛。</li> <li>9、 続き。近世軍記『難波戦記』中の後藤又兵衛。</li> <li>10、 続き。後続の実録に描かれた後藤又兵衛。</li> <li>11、 続き。明治期の講談速記本中の後藤又兵衛。</li> <li>12、又兵衛が主人公である浪花節「お笑い難波戦記」を聴いてみましょう。</li> <li>13、本編その三。「大坂城中の花」木村長門守重成。</li> <li>14、 続き。木村長門守の堪忍袋。</li> <li>15、 続き。和睦の使者、木村長門守。 講談「村越茂助誉の使者」と落語「粗忽の使者」。</li> <li>16、 続き。木村長門守の死。蘭奢待の香り。</li> <li>17、本編その四。薄田隼人の「失態」。橙武者薄田隼人。と「助太刀屋」塙団右衛門。</li> <li>18、 続き。『難波戦記』の失態と『厭蝕太平楽記』での雪冤。</li> <li>19、 続き。『本朝盛衰記』に描かれた超人的な活躍と壮烈な最期。</li> <li>20、 続き。薄田隼人の前身、岩見重太郎。</li> <li>21、本編その五。「夜討ち抜け駆けの大將」塙団右衛門の実像。</li> <li>22、 続き。『難波戦記大全』での活躍など。</li> <li>23、 続き。塙の助太刀。「天下茶屋の敵討ち」など。</li> <li>24、 講談「難波戦記」塙団右衛門の最期の件を聴いてみましょう。</li> <li>25、本編その六「天下無敵の軍師」真田幸村。</li> <li>26、 続き。抜け穴と短銃。</li> <li>27、 続き。父昌幸のこと兄信之のこと、など。</li> <li>28、 続き。機略縦横の軍師の誕生。</li> <li>29、 続き。幸村と忍者、猿飛と霧隠。</li> <li>30、実録の近代。</li> </ol> <p>芸能鑑賞法Ⅱで講師が実演する回は、時間が許せば、是非聴講してください。</p>		